

特集

オリンピッククイヤーの幕開け

新春対談

伊藤華英×清水勇人

競泳オリンピック

さいたま市長

クローズアップ P8 | さいたまシティカップ P9 | 市の財政状況をお知らせします 他

各種手続き、窓口に関するお問合せなどは

さいたまコールセンター（8時～21時、年中無休）

☎ 048・835・3156 FAX 048・827・8656

市報さいたま1月号は、令和元年12月25日～28日の4日間で、全戸に配布しています。なお、1月号は62万6,200部作成し、広告料収入を差し引いた市の負担は、1部当たり26円（配布費用を含む）です。

2020年（令和2年）1月号 Vol.225 | 発行：さいたま市 編集：広報課 〒330-9588 浦和区常盤6-4-4 ☎ 048・829・1039 FAX 048・829・1018

競泳オリンピック 伊藤華英

クイヤーの ードは ごと!



PROFILE

伊藤華英さん(34)

見沼区出身。幼少期より市内のスイミングスクールで水泳を始め、女子背泳ぎの日本代表として2008年の北京、2012年のロンドンオリンピックでは自由形のリレーに出場。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、東京2020組織委員会の職員として運営を支える。

い始めたそうですね。どういきっかけだったのですか。

伊藤 私はもともと身体が弱く、喘息持ちだったので、身体を強くするには水泳がいいだろうと母親が考えたんです。生後6か月でプールに入ったので、泳げた時の記憶はありません。6歳で競泳の選手を目指す「選手コース」に入ったら、周りの子たちが「オリンピックに行きたい」と言っていて、一生懸命な人がいっぱいいるところに来ちゃったなと感じました。

市長 水泳は生活の一部だったのですね。

伊藤 泳ぐのと、友達ができるのが楽しくて、スイミングスクールに通っていました。埼玉県には海がない分、みんなプールに通うんですよね。周りに水泳をしている子は多かったですし、県内には競泳の強豪校が多かったです。「勝てないな」と思わせる選手がたくさんいました。さいたま市にいたから、選手として伸びたという思いはありません。

さいたま市だから 選手として伸びた

市長 明けましておめでとうございます。

伊藤 明けましておめでとうございます。

市長 伊藤さんは幼少期に岩槻区のスイミングスクールに通

選手、市民ともに 思い出に残る大会に

市長 北京、ロンドンとオリ

さいたま市長 清水勇人

オリンピック キーワード 自分

ンピックに2回出ていらっしやいます。オリンピックは他の大会と比べて特別だと思うのですが、どのような違いがありますか。

伊藤 全然雰囲気の違いです。選手にとっては、人生最高の舞台がオリンピックなんです。私も最初の北京オリンピックでは、緊張しすぎてどんなふうだったか覚えていないくらいです。五輪マークのタトゥーを入れて、出場したということを入れて、身体に刻み込む外国人選手もいます。そんな最高の舞台がさいたま市にもやってくるので、今からとても楽しみです。

ロンドンオリンピックではバジルドンという郊外の街で合宿をしたんですけど、街の人がすごく歓迎してくれて「来てよかったな」と感じました。選手は外国に来て、不安な気持ちになります。市民の方には、東京2020オリンピックで選手たちを笑顔で迎え入れて、選手たちの精神面を和らげてほしいと思います。

市長 市民の皆さんにとっても、何らかの形で思い出に残る大会になればと思っています。開会前の7月9日には市内でもオリンピック聖火リレーが行わ

れます。2,000年以上の歴史を持つ武蔵一宮氷川神社からさいたま新都心に向かいます。いにしえから未来へつなぐというコンセプトのコースです。

他にも本市として、さまざまなアイデアを出し合って準備しています。例えば、暑さ対策に国内友好都市である新潟県南魚沼市の雪をスノーパックにして配ったり、雪で冷やした空間を作って涼んでもらったりする予定です。

また、訪れる方にさいたま市の良さを知ってもらいたいとも考えています。大宮盆栽美術館や2月にオープンする岩槻人形博物館といったスポットを巡る回遊バスを運行予定です。観客案内をするボランティアとともに、国内外から訪れる方をおもてなしできる体制を整えます。

「自分」のキーワード

伊藤 オリンピックが来たこととして、自分が何か体験したということでしょうか思い出にならないと私は思うんです。引退してからリオや平昌のオリンピックに取材で行ったのですが、誰かがメダルを獲ったかよりも、自分がすごく大変だったことや、仕

皆で応援しようよとか、
盛り上がるよよという
空気になるといいですね



事で忙しかったことを覚えてい
ます。前回の東京オリンピック
を見た祖母は、ブルーインパ
ルを見た話をずっとしています
し、いかに「自分ごと」として

思い出を残せるかが大事ですね。

観戦チケットを入手できなく
ても、競技会場の近くに行くだ
けでも違う。金メダルの数を数え
るだけではなくて自分自身が選
手から何かを感じたり、訪れる
多くの人と一体感を共有したり
してほしいですね。大会から得た
何かを自分のレガシー(遺産)とし
て残してほしいなと思います。

市長 思い出に残ることつ
て、さまざまあるでしょうね。
聖火リレーを見に行ったりとか、
さいたまのことを聞かれてこう
教えたとか…。身近なことでもオ
リンピックを感じるのほもちろ

ん、市としても市民の皆さんに
楽しんでいただけるイベントを
考えています。大会を体感でき
る市民を一人でも増やしてい
たいですね。

スポーツには「する」だけで
なく、「みる」、「ささえる」、「ま
なぶ」といった多様な関わり方
があります。それがスポーツの
素晴らしいところですよ。

伊藤 スポーツの可能性は幅
広く、さまざまなきっかけをく
れるものだと思います。オリ
ンピックを単に大きな運動会みた
いに見ている人もいますが、他
者への尊敬や認め合うことの大切
さを学べる場でもあります。

市長 地域の中にあると、な
かなか地元の良さに気づかない
ところがあると思うんです。大
会を通して本市で約160万

もの人が観戦するオリンピック
で、国内外の方と触れ合うこと
が地元の良さを再認識する機会
になることを期待しています。

スポーツの力で 住みよいまちに

市長 今後、さいたま市にど
のようなことを期待しますか。

伊藤 今以上に「スポーツの
まち」になってほしいなと思

ます。スポーツが盛んな地域つ
て活気がありますし、いい人材
がたくさん育っていくんじゃない
かな。運動が得意でもそう
でなくても、スポーツ好きな人
が増えると嬉しいですね。たく
さんの方がスポーツに関わって
ほしいですね。

市長 さいたま市では週に1
回以上スポーツをする大人の割
合が、平成22年度に39.7%

だったのが平成30年度
には62.8%まで高
まってきました。

伊藤 すごい。増え
ましたね。

市長 目標の70%ま
ではまだ少しあるんで

すけど。スポーツをすると、健
康面でもいい効果があるし、何
より楽しいということをもっと
知ってもらいたいですね。

スポーツには、コミュニティづ
くりの役割もあります。地域に
は自治会をはじめとするさまざ
まな組織がありますが、一つの
組織だけではなかなかコミュニ
ティは作れません。ですから、
多様なコミュニティの形があっ
て、人と人とのつながりを生む
ことが重要なんです。スポーツ
を通じてそういうつながりがで
き、さらに住みやすいまちに
なっていくことを目指してい
ます。

より多くの市民の皆さんに
オリンピックに関わって
ほしいと思っています



する・みる・ささえる・まなぶ

スポーツをとりまくさいたまのまちづくり計画

オリンピックイヤーが幕を開け、スポーツにますます注目が集まっています。
市では平成22年に制定したさいたま市スポーツ振興まちづくり条例に基づき、
「日本一スポーツで笑顔あふれるまち」を目指し、さまざまなスポーツ関連事業に取り組んでいます。
さいたま市がなぜスポーツ都市として発展しているのか？その背景をみてみましょう。

教育

生涯スポーツの振興や子どもたちの健全な心身の育成を図るため、子どもたちを対象としたスポーツ教室を実施しています。また、市民の皆さんがスポーツに親しむことのできる空間の整備・向上を図っています。

都市計画

スポーツができる多目的広場をはじめとする施設の整備や体育館などの既存施設の再整備を行っています。また、道路・緑道などの都市計画と連携することで、スポーツをする環境だけでなく、生活環境の向上を図っています。

健康・福祉

世代を問わず日常生活から体を動かすことで、スポーツへの親しみや、心と身体^{からだ}の健康づくりを推進しています。また、スポーツを通じて障害のある方の社会参加を支援することで、障害に対する理解を促進しています。

文化

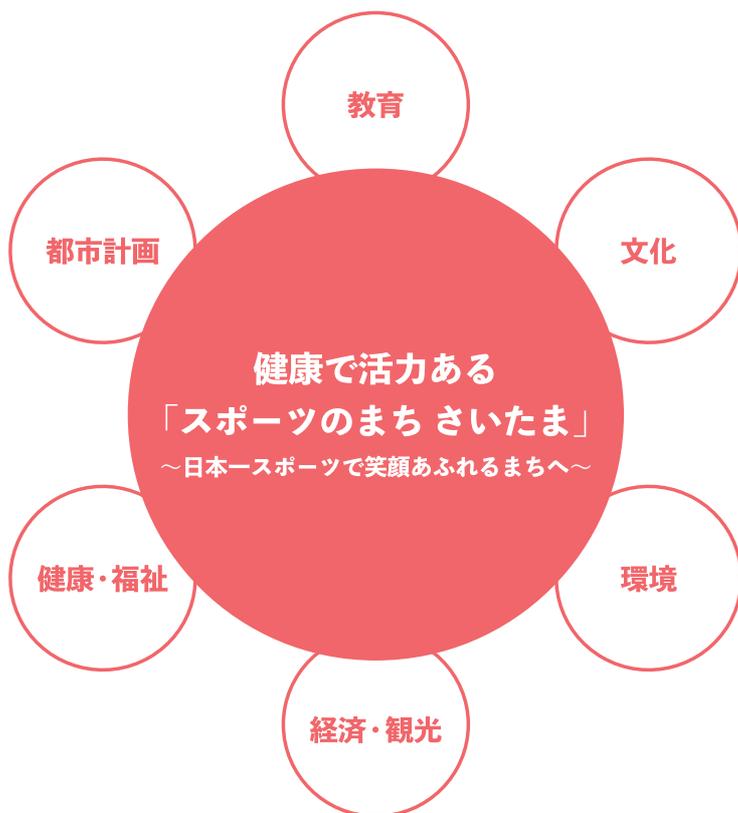
「スポーツのまち」という文化を育むため、スポーツイベント開催時に、市内の学生や市民団体等による音楽コンサートを実施するなど、さまざまなスポーツ活動と文化・芸術を連携させ、相互発展を目指しています。

環境

グラウンドの芝生化推進事業など環境に優しいスポーツの場の整備を推進しています。また、スポーツイベントやさまざまなスポーツ活動と環境負荷低減活動が連携することで、スポーツを通じた環境意識の啓発を行っています。

経済・観光

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめ、多くの人が集まる大規模なイベントの実施・支援を行っています。また、スポーツに関する活動と地域経済や市内の観光活動との連携を図っています。



今月の表紙

オリンピックの会場となる市内の2つの競技場を新年を祝う紅白で表現しました！



さいたまスーパーアリーナ（さいたま新都心駅西口）



埼玉スタジアム2002（緑区美園）